

# 臨床心理学

[講義] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 橋本竜作 hashi-ryu@hoku-iryo-u.ac.jp  
百々尚美

## 【概要】

臨床心理学は、心理的な問題を持つ人々の評価、診断、治療および予防に焦点を当てた心理学の専門分野です。この科目では、基本的なパーソナリティ理論を学び、異常心理や発達各期における心理臨床的問題について学ぶ。また心理的な問題を査定する基本的な臨床心理学的アセスメントと、主要な心理療法の基本的な考えと技法について学ぶ。本科目では、将来リハビリテーション医療に従事する専門職として、治療・支援対象者の心理的側面を理解し、臨床場面で適切に対応するための基礎的知識の修得を目的とする。

## 【学修目標】

一般目標：

言語聴覚障害および言語聴覚臨床について学修する上で基礎となる臨床心理学に関する知識・技能・態度を修得する。

行動目標：

- (1) 主要な人格理論を説明できる。
- (2) 異常心理学を説明できる。
- (3) 発達各期における主要な心理臨床的問題を説明できる。
- (4) 基本的なアセスメントの手法について説明できる。
- (5) 主要な心理療法の基本概念と技法を説明できる。

## 【学修内容】

| 回      | テーマ             | 授業内容および学修課題  | 担当者  |
|--------|-----------------|--|------|
| 1      | 臨床心理学とは         | 臨床心理学の学問領域について概説する。<br>国際的の疾病分類、異常と正常の基準について知る。                        | 橋本竜作 |
| 2      | 人格理論            | 類型論・特性論等について知る。<br>パーソナリティ症について知る。                                     | 橋本竜作 |
| 3<br>} | 異常心理学           | 双極症、抑うつ症について知る。<br>不安症、強迫症について知る。<br>身体症状症、PTSDについて知る。<br>統合失調症について知る。 | 橋本竜作 |
| 4      |                 |  |      |
| 5<br>} | 発達各期における心理臨床的問題 | 不登校・ひきこもりについて知る。<br>自我同一性の問題等について知る。<br>食行動症及び摂食症について知る。               | 橋本竜作 |
| 6      |                 |  |      |
| 7      | 臨床心理学的査定法       | 知能検査、発達検査、人格検査等について知る。   | 橋本竜作 |
| 8      | 臨床心理学的査定法       | 投影法について知る。   | 百々尚美 |
| 9      | 心理療法            | 精神分析療法について知る。  | 百々尚美 |
| 10     | 心理療法            | 精神分析療法について知る。  | 百々尚美 |
| 11     | 心理療法            | 行動療法について知る。  | 百々尚美 |
| 12     | 心理療法            | 認知療法について知る。  | 百々尚美 |
| 13     | 心理療法            | クライアント中心療法について知る。  | 百々尚美 |
| 14     | 心理療法            | 遊戯療法・集団療法・家族療法について知る。  | 百々尚美 |
| 15     | まとめ             | 小テストを行い、解説を通して知識の定着を図る。  | 橋本竜作 |

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

## 【アクティブ・ラーニング】

導入している

## 【評価方法】

小テスト（20％） 定期試験（筆記試験）80％（橋本担当分40％、百々担当分40％）

試験実施後、問い合わせがあった際には解答の要点を掲示する。

**【教科書】**

山田弘幸 編著 「言語聴覚士のための 心理学 第2版」 医歯薬出版株式会社 2020年

**【参考書】**

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学」 ミネルヴァ書房 2009年

中川 明仁（編）「Crosslink basic リハビリテーションテキスト 心理学・臨床心理学」メジカルビュー社 2024年

山口 加代子（編）「最新リハビリテーション基礎講座 臨床心理学」医歯薬出版 2024年

**【備考】**

単元毎にGoogleフォームを用いた小テストを実施し、知識の定着を図る。

多かった誤りについては、講義やGoogle classroom等を通じて解説する。

試験実施後、問い合わせがあった際には、回答の要点を掲示する。

**【学修の準備】**

予習として教科書または前回の講義資料を熟読し、各理論や心理療法について学んでおくこと（80分）。

復習として講義内容を見直し、関連書籍を図書館で借りて、理解を深めておくこと（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

（DP2）言語聴覚療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【ICTの活用】**

Google classroomを利用する。

授業形態は橋本担当分は対面型、百々担当分はオンデマンド型で講義を行う。

学生の質問・意見はGoogle classroomを通じて収集し、授業などで紹介する。

**【実務経験】**

橋本竜作（公認心理師）、百々尚美（公認心理師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している